

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



適格な内視鏡診断・
治療を目指します



内視鏡センター長 松山 太一

【特集】

内視鏡センターのご紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 病理診断科
- 追悼 橋本伸朗副院長
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター

検索

ホームページ QR コード▲

当院が救急病院という性質上、当センターも緊急の内視鏡検査・治療が多く、また高齢者や多数の併存症をお持ちの方、精神疾患のある方などにも多く対応させて頂いています。チームとしては医師8名（内視鏡専門医4名、スタッフ2名、レジデント2名）、看護師6名（内視鏡検査技師4名）で、検査室は3室を稼働し、検査・治療に当たっております。

通常の消化管内視鏡検査や腫瘍精査のための精密検査（画像強調観察、拡大内視鏡観察、超音波内視鏡検査）、内視鏡的切除術（EMR,ESD）、内視鏡的止血術、胆膵内視鏡検査・治療などに加えて、カプセル内視鏡検査とダブルバルーン内視鏡機器を導入し、小腸の精査・治療も行っております。喉頭や下咽頭の表在型腫瘍に対しては耳鼻咽喉科と合同で内視鏡的咽喉頭手術（ELPS）を行っております。また ERCP 関連手技では 2021 年度より内視鏡的経口胆道鏡「スパイグラス DS」を導入し、難治性胆管結石に対しても治療の幅が広がりました。

日本では 2020 年以降、新型コロナウイルス感染が流行し、現在、第 7 波は落ち着いてきているものの、内視鏡診療も感染リスクが考慮され、慎重に対応せざるを得ません。当院では外来、入院を問わず、内視鏡検査前には患者さまに SARS-COV-2 抗原定量検査にご協力頂き、陰性を確認した後に適切な PPE（Personal Protective Equipment: 個人用防護具）を行い、検査・治療に当たらせて頂いております。実際に、無症状でも内視鏡前の検査で感染が確認された方もおられ、緊急性がない場合には検査・治療を延期させて頂いたケースがございました。コロナ禍で検査・治療件数の低下が懸念されましたが、いつもご



紹介頂く開業医の先生や連携医療機関の先生方のご尽力によりまして、当院では 2020 年以降も内視鏡検査・治療件数に減少は認めておりません。できるだけ患者さまをお待たせせず、適切に精査・治療が行えるよう努めて参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

消化器内科副部長
内視鏡センター長
まつやま たいち
松山 太一

専門分野
消化器一般、消化器内視鏡、内視鏡治療、ESD 治療
専門医・所属学会など
日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本肝臓学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化管学会専門医



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

VOICE

登録医の声

医療法人弘代会 たがみクリニック

たがみ ひろふみ
院長 田上 弘文

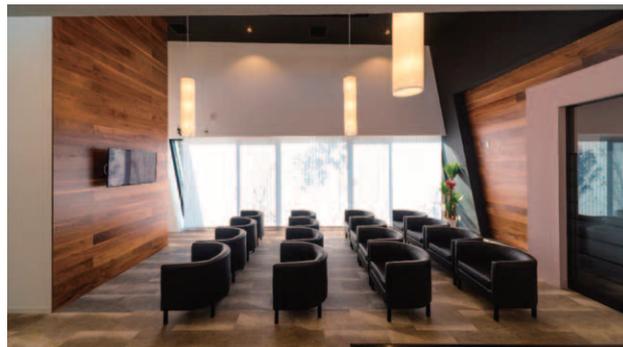


◆貴院のアピールをお願いします

当クリニックは、2018年1月に菊池市内の西側に開院して、5年目を迎えました。診療所らしくない外観が特徴的で、高齢者も若い女性も快適に過ごせるホテルロビーのような待合室を設けました。診療では、高血圧、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病の治療・予防といった内科一般、外傷処置・縫合といった小外科手術を行い、幅広く診療することで地域医療に貢献したいと考えております。とりわけ、内視鏡検査を充実して食道・胃・大腸がんの早期発見・早期治療、また、昨今、増加の著しい乳がんの早期発見をめざしており、胃がん・大腸がん・乳がんの精密検査施設として熊本市内の基幹病院と連携して、がん検診・治療に積極的に取り組んでおります。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

これといった趣味はないのですが、休日は積極的に散歩するようにしています。自動車を通り過ぎるときには、気づかなかった新発見も多く、興味深いものです。そんな散歩中に立ち寄ったのが、「ナポリピッツァ研究所イルフォルノドーロ」。本格的な焼窯で焼かれたナポリピッツァは、絶品です。地元菊池の肉や野菜を使ったメニューも豊富で、最近では、テレビでもよく紹介されています。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

熊本医療センターの先生方には、いつも大変お世話になっており感謝申し上げます。当地は高齢化が顕著で認知症など精神疾患をもつ患者さまもおられるので、広範な疾患に対応していただける貴センターは、ありがたい存在であり、地域医療の要です。患者さまによっては、どの診療科に紹介すべきか迷う症例もありますので、そういう事例も含めて、今後ともなにとぞよろしく願いいたします。

【診療科目】

内科、消化器内科、外科、乳腺外科、肛門科

【診療受付時間】

午前受付 8:15～12:00
(診療時間 8:30～12:30)
午後受付 13:45～17:00
(診療時間 14:00～17:30)

【休診日】

木曜午後、土曜午後、日曜・祝日

【住所】

〒861-1323 熊本県菊池市西寺 1400-1

【TEL】

0968-24-5353

【FAX】

0968-24-5354

最近のトピックス

病理診断科とは

国立病院機構熊本医療センター
病理診断科 部長やなぎだ えりこ
柳田 恵理子

病理診断科という名前をお聞きになられたことはありませんか？患者さまが直接ご自身で受診されるところではないため、あまり知られていない科ですが、病気の部分から採取した細胞や組織を顕微鏡で観察し、診断を行う科です。

今回この場をお借りして、検診のある項目で「要精密検査」となった場合を例に病理診断科の役割をご紹介しますと思います（検査機関や病院による違いがあることをご了承ください）。

もし、検診の便潜血検査（便の中の少量の血液成分を検出する検査）で陽性の判定が出た場合には、精密検査として大腸内視鏡検査が勧められます。大腸内視鏡検査では、消化器内科の医師が内視鏡を用いて、便に血液が混じる原因がないか、すなわち腸のどこかに出血源がないか、腸の状態を詳細に観察します。出血の原因になるような部分があるとそこから数ミリ程度の組織が採取されることがあります。内視鏡の性能や技術の向上は目覚ましく、内視鏡検査の時点で診断がつくことも多いのですが、診断の確定や確認、治療方針の決定のために組織の採取が行われます。

ここからが病理診断科の出番です。診断のためには、採取された組織からガラス標本というものを作製し、顕微鏡でこの標本を観察する必要があります。以下の写真は実際の顕微鏡像です。大腸の上皮細胞が増殖し、明瞭な管状の構造を形成しており、「管状腺腫」と呼ばれる良性の上皮性腫瘍です。大腸を通過する便がこの腺腫に当たると、便潜血陽性になることがあります。病理診断科から「採取された組織は管状腺腫で、悪性の所見はありません。」という診断を受け取った内科医は、その結果を患者さまにお伝えするとともに最も適した治療方針をご提案することになります。



管状腺腫（良性）

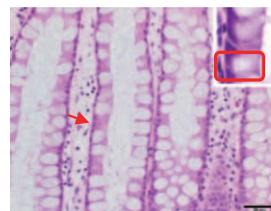
つまり、病理診断科とは名前のとおり病気の理由を診（みて）判断する科です。正しい治療には正しい診断が必

要です。患者さまに直接対面することのない診療科ですが、患者さまのお役にたつ情報を提供することが最大のやりがいです。

● 良性？ 悪性？ どうやって診断しているの？

ここでは、良性の病気として大腸腺腫、悪性の病気として大腸癌を例にもう少し詳しくどのように診断をしているかについてお話をしたいと思います。

まず、写真Aは正常な大腸粘膜です。右上にさらに拡大した写真をそれぞれつけています。拡大部分の赤線で囲った細胞が大腸粘膜の上皮細胞1個分です。矢印が示す小さな紫色のものが核と呼ばれるもので、1個の細胞には1個の核があります。核も細胞も規則正しく並んでいるのが正常の特徴です。

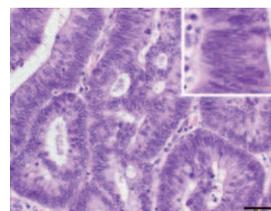


A. 正常の大腸粘膜

写真Bは大腸腺腫の一種である管状腺腫です。Aの正常に似たまっすぐな形は残っていますが、一部は歪んでいますし、核が長細く大きくなっています。正常に似ている部分もありますが、細胞が少し大きくなって、そして数も増えているのが、腺腫の特徴です。Cの癌になると、まっすぐな構造は激しく崩れ、ぼこぼこ穴が開いているような構造になり、核が重なってしまうほど増えています。Aの正常の大腸粘膜とはかけ離れた構造になっているのが癌の特徴です。



B. 管状腺腫（良性）



C. 大腸癌（悪性）

病理診断は、血圧や血液検査のように決められた数値以上は病気というような、絶対値による評価ではありませんが、病理診断においても評価基準があります。それは顕微鏡で観察したときに見てわかる形の違いです。正常と比較して、どう変化しているか、かけ離れているか、形の違いを観察し、良性や悪性の判断をしています。

実際には形の違いだけでは、診断がとても難しいことや診断にたどり着けないこともあります。そのようなときは画像の情報や遺伝子の変化など複数の情報を総合して、正しい診断・最適な治療を患者さまにご提供できるように診療にあたっています。

追悼 橋本伸朗副院長

略歴調書 (副院長)



はしもと のぶろう
橋本 伸朗

略歴

昭和59年	6月	高知医科大学医学部附属病院 (現 高知大学医学部附属病院)	医員(研修医)
昭和60年	4月	竜荘整形外科病院	医員
昭和61年	6月	畠中病院	医員
昭和62年	9月	須崎くろしお病院	整形外科医長
昭和63年	7月	熊本大学医学部附属病院	医員
平成1年	4月	熊本大学医学部附属病院	助手
平成2年	9月	水俣市立湯の尻病院 (現 国保水俣市立総合医療センター)	技術吏員
平成5年	7月	国立熊本病院	整形外科医師
平成16年	4月	国立病院機構熊本医療センター	整形外科医長
平成20年	3月	国立病院機構熊本医療センター	整形外科部長
平成30年	4月	国立病院機構熊本医療センター	診療部長
平成31年	4月	国立病院機構熊本医療センター	副院長

橋本伸朗副院長追悼

院長 高橋 毅

当院の副院長、橋本伸朗先生の於かれましては、令和4年9月9日にご逝去されました。享年63歳、大変残念でなりません。橋本先生は、昭和59年に高知医科大学をご卒業後、整形外科の脊椎外科を究められ、熊本大学医学部附属病院整形外科の助手を務められました。平成5年7月より、当院(国立熊本病院)へ赴任され、整形外科医長、同部長、同診療部長を経て、平成31年4月より副院長にご就任されました。紳士的な優しい先生で患者さまや職員に慕われ、時には趣味のエレキベースを弾いて宴会を盛り上げられました。

30年間の長きにわたり、献身的に診療に務められ、当院の発展に多大なる貢献をされました。ご冥福をお祈り致します。

橋本伸朗副院長追悼

整形外科部長 福元 哲也

橋本伸朗先生との出会いは、1989年5月、私が熊大整形外科入局と同時に脊椎グループに所属した時になります。私は翌年当院に赴任しましたが、橋本先生も1993年に当院に赴任され、30年以上一緒に仕事させていただきました。救急車の来ない超慢性期の病院の時代から現在の救急体制に至る変遷をともに過ごし、前副院長の野村一俊先生の元、クリティカルパスの最初の作成など、常に新しい治療に取り組ませていただきました。2008年から整形外科部長、2020年4月より副院長に就任されましたが、忘年会ではいつも出し物に積極的に参加しユーモアにあふれた先生でした。

昨年発病にともない闘病生活が始まり、非常にきつい思いをされていることは知りながら、3月には「迷惑かけるからやめようか」といわれたとき、私は「続けてほしい」とお願いしたことが良かったのか。体調の許すぎりぎりまで、周りのことを考えながらお仕事をされていたことには頭が下がる思いでした。8月15日病休で当院最後の日に帰宅する駐車場で「もう会えないと思うので後を頼むね」と優しくおっしゃられ、返す言葉がなく、今でもなんとお答えすれば良かったのか考えてしまいます。

ご両親を早くに亡くされ、妹さん、ご家族を大事にされておられました。職場のスタッフ、患者さまにも常に優しく接していただき、さらに芸達者で笑いも数多く提供いただきました。本当にありがとうございました。これからは大好きなサザンを聞きながらご両親とゆっくりとお過ごしいただき、私たちを見守っていただきたいと思ひます。ご冥福をお祈り申し上げます。

橋本伸朗副院長追悼

5南病棟師長 深川 千晶

8月の残暑の折、福元先生より、病院への復帰は難しいかもしれないことを伝えられました。それほど体調が悪かったことを知り大変驚き、こんなにも早くお別れの言葉を申し上げる日がくるとは思っておりませんでした。スタッフ一同深い悲しみに包まれております。

副院長として多忙な中でも、時々先生の担当の患者さまが入院されることがありました。その際は「今日から〇〇さんが入院になるので、よろしく願ひします。」といつも直接電話を頂きました。毎日患者さまの元に足を運ばれ、スタッフともよくコミュニケーションをとられている姿があり、いつも話しやすい雰囲気づくりをされていたのだと思ひます。時に、病状が思うように回復せずリハビリも進んでいなかった患者さまのカンファレンスに参加して頂いた際は、「時間はかかりますが良くなりますので、皆さんで励ましてください」とスタッフに伝えて頂き、前向きな関わりができました。本当にありがとうございました。これからも病棟を温かく見守って頂きたいと思ひます。ご冥福をお祈り申し上げます。

研修医レポート

臨床研修医

のがみ こういちろう
野上 光一郎



こんにちは。研修医1年目の野上光一郎と申します。鹿児島大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせていただき早5か月が経ちました。はじめは慣れない環境で苦勞もありましたが、先生方やスタッフの皆様を支えられ日々研修に励んでいます。

私の研修医としての生活は血液内科から始まりました。はじめのうちは業務どころかカルテの使い方すら分かりませんでした。先生

方に優しくご指導いただいたおかげで少しずつ慣れていくことができました。病棟管理や手技も数多く経験させていただき、非常に充実した毎日を送らせていただきました。研修医のスタートとしては最高の環境だったと思います。

その後は外科、精神科、産婦人科と研修を行いました。それぞれの診療科ごとに業務や研修の内容は大きく異なり戸惑うこともありましたが、経験した症例や学んだ知識を別の診療科で活かすことが出来た時には、自分の成長を実感でき、非常にやりがいを感じます。また救急外来での当直も含めると、日常の病棟業務から重症救急まで様々な場面での診療を行うため、目の前の症例1つ1つから少しでも多くのことを学んでいくことを心掛けながら日々研鑽に励んでいます。

現在は小児科での研修をさせていただいておりますが、これまでとはまた違った新鮮さがあり非常に楽しく勉強させていただいております。まだまだ至らない点も多くご迷惑をおかけしてしまうことも多々あると思いますが、一人前の医師となれるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

臨床研修医

たなか まなみ
田中 愛美



こんにちは。研修医1年目の田中愛美と申します。鹿児島大学を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期研修をさせていただいております。研修が始まって5か月ほどたち、徐々に慣れてきたところもありますが、至らない部分も多い中、先生方やスタッフの皆様のおかげで日々研修を頑張っております。

私は呼吸器内科から研修をスタートし、救急科、産婦人科、小児科を回らせていただき、現在は精神科で研修しております。呼吸器内科ではカルテの書き方など基本的なことから教えていただき、その後胸腔ドレーン挿入や気管支鏡検査などの手技をさせていただ

きました。救急科では、患者さまが次々と搬送されてくる中で、鑑別を考え必要な検査を行っていく必要がありました。緊急性の高い症例や重症例などは瞬時に考えて判断する必要があり難しくもありましたが、とても勉強になりました。産婦人科では、初めて手術に入り縫合などを勉強できたうえ、ルート確保や術前後管理、患者さま家族へのICなど幅広く勉強させていただきました。小児科では、成人とは違った診察方法や注意点が、難しさを感じつつも小児と触れ合う貴重な経験をさせていただきました。血液疾患の方も多く、感冒から白血病まで多くの疾患を学ぶことができました。精神科では、認知症から依存症まで幅広く、また身体疾患を同時に抱えていることも多く、一筋縄ではいかない難しさを感じつつ勉強しております。

1年目もあっという間に折り返し地点となりました。まだまだできないことばかりでご迷惑をおかけしていますが、日々勉強になることが多く、こちらで研修できてよかったと心から思っています。今後も精進してまいりますのでご指導のほどよろしくお願ひ致します。

臨床研修医

ほんだ なおき
本多 直喜



こんにちは。研修医1年目の本多直喜と申します。熊本大学医学部医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて研修をさせていただいております。

今は研修が始まり、6ヵ月近くが経ち、神経内科、救急・総合診療科、産婦人科、小児科、精神科を回らせていただきました。どの診療科でも初めの1週は分からないことだらけで、各診療科の診察や治療方法だけでなく、病棟のルール、入院から退院までの流れなど覚えることが多くあり、なにをするにも苦戦していました。先生方、看護師さんをはじめ多くの方の支えによって、少しずつ成長すること

ことができました。3,4週目になり仕事にも慣れ、自分の視野が広がり、周りを見ることができるようになると、回っている診療科の魅力、面白さを実感できるようになりました。国立病院は病院の規模も大きく、様々な疾患に出会うことができます。先生方から手厚いサポートもあり、研修医が患者さまを主体的に診ることが出来ます。学生の時とは違い、毎日があっという間に過ぎていきます。忙しくて眠れないときや分からないことが多すぎて落ち込むことは多々ありますが、やりがいのある充実した日々を過ごすことができました。各診療科4,6週間と短い期間でしたが、手技や勉強だけでなく、医師としての立ち振る舞いや考え方などとても大切なことを学ばせていただき感謝しております。

これからも様々な診療科で研修をしていく中で、一人の医師として、病院や患者さまの力になれるよう精進してまいります。たくさんのご迷惑をおかけすると思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

2022年11月研修のご案内

第56回 診断と治療－最新の基礎公開講座－ 〔日本医師会生涯教育講座2.0単位認定〕

日時▶11月5日（土）15：00～17：30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

座長 宮崎眼科医院 院長 宮崎 隆一 先生

「屈折異常の基礎と治療」

（1）屈折異常の基礎

国立病院機構熊本医療センター眼科部長 榮木 大輔

（2）屈折異常の外科的治療

眼科こがクリニック 院長 古賀 貴久 先生

第137回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会

日時▶11月9日（水）17：30～18：30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

二の丸モーニングセミナー

日時▶11月10・24日（木）8：15～8：45
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

熊本県臨床衛生検査技師会・ 一般検査研究班月例会【WEB】

日時▶11月10日（木）18：30～20：00

歯科）救急蘇生法講座

日時▶11月10日（木）19：30～21：30
場所▶スキルアップラボセンター（新館6F）

講師 国立病院機構熊本医療センター診療部長／麻酔科部長 瀧 賢一郎

第163回 公開看護セミナー

日時▶11月12日（土）13：00～15：30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「急性期看護における看護倫理」

社会医療法人博愛会相良病院緩和ケア支援センター顧問 江口 恵子 先生

第32回 熊本PEECコース【WEB】

日時▶11月20日（日）8：30～13：00

第285回 月曜会（内科症例検討会）

〔日本医師会生涯教育講座1.0単位認定〕

日時▶11月21日（月）19：00～20：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1 感染症内科からの一例 2 糖尿病・内分泌内科からの一例

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶11月22日（火）19：00～21：00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室1

第192回 救急症例検討会【WEB】

日時▶11月30日（水）18：30～20：00

※今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえ、急遽中止させていただく場合がございます。
最新の情報は当院ホームページでご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
QRコード▶



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和4年11月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 真久	達智 佳子 榮 井上	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 裕大 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記		名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)
	感染症内科	小野 宏	小野 宏			小野 宏	小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 達智 博隆	境 健爾 達智 博隆	境 健爾	境 健爾 達智 博隆		
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 佐々木 大亮	杉 和洋 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 大亮	松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 松田 暖 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 大亮 山本 祐弥	杉 和洋 松山 太一	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	田山 信至 日下 裕章 (新患) 木村 優一 (新患)	藤本 和輝 拓究 (隔週 新患) 奥野 佑樹 (隔週 新患)	片山 哲治 (新患) 日下 裕章	田山 信至 (新患) 友宏 長倉 拓究 奥野 佑樹	和輝 (新患) 片山 哲治 木村 優一	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 健実 岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めての方 2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	大塚 ゆかり	水上 智之	水上 智之	小山 真輝	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	右田 昌宏		担当医		右田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 谷崎 卓実	野元 大地	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	斉藤 大嗣 大塚 忠弘	
	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智和 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		園武 茜		富野 航太	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 東 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか 坪木 純子	山本 直 島田 清史郎	手術日	高木 みか 坪木 純子	山本 直 島田 清史郎		
感覚器センター (眼科)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	草場 雄道	担当医 (手術日)	牧野 公治	
	再診 (その他 初診)	中原 智史 草場 雄道	牧野 公治 山村 愛	中原 智史 草場 雄道		牧野 公治 山村 愛	
形成外科	(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 大島 秀男 石田 拓也 大塚 駿太		
放射線科	治療 (予約制) 画像診断	富高 悦司、山田 茂雄 根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)	休診				(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科	森 久美子 (隔週) 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈 前田 顕誠 (隔週)	中島 健 森 久美子 谷口 広祐 (隔週) 中川 文雄 中尾 美文 早川 真奈 (隔週)	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈		
救命救急センター	櫻井 聖大 橋本 克孝 山田 周 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹		
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師		
	がん看護	専門看護師 (午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師		
薬剤師外来	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師		
	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注) 担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R4/11/1